

## ドキュメント管理システムの特徴について

当社が、各管理組合様に提案を致しております「ドキュメント管理システム」の特徴を以下に記載します。

### 1. システム機能(ソフトウェア)の特徴

1) 「ドキュメント管理システム」の基本システムでありますPDM(プロダクトドキュメントマネージャーの略語)まいく郎V5につきましては、全国の行政を始めとして24,000余りのユーザー様に活用いただいております。

活用頂いております一番の理由は「低価格・高機能」であり、他社製品には見られない操作の容易さが魅力と自負いたしております。

尚、本来ソフトウェアの御提供価格については、販売本数が多いほど低価格で御提供出来るようになって居ります。

ここにPDMの導入先の一覧(資料1)

他社のPDM価格の参考資料を添付します。(資料2)

2) 「ドキュメント管理システム」の基本システムでありますPDM(プロダクトドキュメントマネージャーの略語)まいく郎V5では、取り扱えるファイル形式を一切問いません。公開されている形式であればどのような形式でも投入・管理を行う事が可能です。

拡張性 機能性に優れています

3) 当社は「ドキュメント管理システム」だけではなく区分所有法及び関連省令についてのご支援を含めてより良い管理に活用出来る情報化を見据えて、提案させて頂いております。

長年の経験から住み良い街づくりのために(資料5)

4) 「ドキュメント管理システム」については、建築分野のみならず「街づくり」を専門とした技術集団がシステム構築を行いますので、将来の団地情報全般を管理する「団地管理システムと」の連動性を充分、考慮した上でご提案を行っております。

施設管理の情報化 特に団地管理の情報政策」を考えている会社 団体」は

殆どありません。

## 2.電子化作業の特徴

1) 永年、団地管理業務の経験を生かして、最新情報と施設更新済みで古い情報になった図面を正確に区分し費用の軽減化を図っております。

2) 多くの作業を受注させて頂いて居りますので、低価格でお手伝い出来ます。

ここに他の会社が提示している作業価格の参考資料を添付します。(資料2)

3) 作業環境の整備については、十分な設備が完備しておりますので情報形状(マイクロフィルム・マイクロフィッシュ・観音製本図面等)を問わずに電子化作業を実施することが可能です。

ここに当社の設備内容を添付します。(資料4)

4) 現在、ご提案させて頂いて居ります電子化(画像化)については、将来、大規模修繕や施設改修時にCAD図面に変更する場合においても容易に作業が行えるような形式に、して居ります。

当社では、画像データの自動ベクター化(CAD化)システムも開発所有しております。

## 3.劣化図面に対するの対応

永年の使用により、図面が大幅に劣化し資産情報の役割を果たせなくなった場合にも当社の場合、独立行政法人 都市再生機構に対して「マイクロフィルム」の貸し出しをお願いできる立場にあります。

本来、機構の重要な資産である「マイクロフィルム」については、機構自体の使用以外は殆ど許されていませんが管理組合の資産情報保持の為、特段の配慮により貸し出しを行って居ります。

紙面情報の読み込み(スキャニング)作業より「マイクロフィルム」からのデータ変換する事で、正確な情報の電子化(画像化)作業を低価格で行う事が出来ます。

以上のように、団地管理組合の管理が適正に行え、皆様に役立つ「情報化」を日々考えに入れて提案 構築を行っております。

Facility Management Company



株式会社シーアンドシー技術情報